

令和元年第4回飯南町議会定例会

町長行政報告及び提案理由説明要旨

令和元年6月4日

飯 南 町

本日、令和元年第4回飯南町議会定例会を招集いたしまして、開会の運びとなりましたことを始めにあたりまして厚くお礼申し上げます。

提案いたしました諸議案の説明に先立ちまして、諸般の事項についてご報告申し上げます。

【はじめに】

はじめに、新たな元号、令和とともに新時代が輝かしく幕開けし、これまでの歴史に思いを致しつつ、改めて平和を願い、笑顔あふれる時代に大いなる期待と、決意を抱いているところです。

また、4月の島根県知事選挙においては、元総務省消防庁室長の丸山達也氏が当選の栄に浴されました。

44年ぶりの保守分裂選挙という厳しい状況の中で、広く県民の支持を得られた結果であり、ご当選を心よりお祝い申し上げます。

同じく、島根県議会議員一般選挙（雲南・飯石選挙区）では、山根成二氏と高橋雅彦氏が当選され、本町をはじめとする中山間地域の発展のために、引き続きご尽力いただけるものと大いに期待するところでございます。

また、この知事選挙にあたりましては、私は国との関係を優先するべく、国会議員の皆さまと行動を共にしたことから、町民の皆様には選挙の結果を受けて、今後の町政運営への影響などご心配をおかけしていることと思いますが、選挙後速やかに山根県議にご案内いただき、丸山知事と面会し飯南町への支援のお願いと、丸山県政推進に向け、私としても共に取り組ませていただく旨のあいさつをいたしました。丸山知事からも共に協力していこうとの言葉をいただいたところであり、今後とも飯南町の発展のため力を尽くしてまいります。

それでは総合振興計画の分野別の基本方針にもとづき、諸般の事項についてご報告申し上げます。

1. 自治・協働

自治・協働についてでございます。

【令和元年春の叙勲】

はじめに、令和元年春の叙勲についてでございます。

5月24日、下赤名の森島 功武さんが、33年間にわたる消防団活動と消防団長としての功績により、「令和元年春の叙勲」（瑞宝双光章・ずいほうそうこうしょう）を受章されました。

また、都加賀の景山 武さんには、選挙管理委員会での永年にわたる功績が称えられ、藍綬褒章（らんじゅほうしょう）が授与されたところでございます。

このように、「令和」という新たな時代の始まりに際し、栄えある賞を受章されたことは本町としても大変光栄なことであり、改めてお二人の永年のご尽力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。

【小さな拠点の形成】

次に、小さな拠点の形成についてでございます。

本年度より本体工事に着手する来島拠点複合施設につきましては、先日出札を執行し、仮契約を締結したところであり、本定例会において契約に関わる議決をいただきたく議案を提出しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今後、住民説明会を開催し、速やかに着工できるよう準備を進めてまいります。

2. 教育文化子育て

次に、教育文化子育てについてでございます。

【子育てしやすい環境づくり】

はじめに、子育てしやすい環境づくりについてでございます。

5月のゴールデンウィーク（10連休）に伴う保育所の対応につきましては、4月上旬に保護者アンケートを実施し、4月30日から5月2日までの3日間、特別一時保育を来島保育所及び桜ヶ台保育所で実施いたしました。

利用実績は、4月30日（来島保育所）は6名、5月1日（桜ヶ台保育所）は2名の利用があり、5月2日は利用希望が無かったため、休所したところでございます。

保育士確保対策につきましては、「医療及び福祉従事者確保対策助成金」に、本年度も学生1名の決定をしたところでございます。

子ども子育て支援計画につきましては、本年度が計画の最終年度を迎えることから、次年度以降の計画策定に向けて準備を進めており、子育てしやすい環境づくりに取り組んでまいります。

【保小中高が連携した学校教育の充実】

次に、学校教育の充実についてでございます。

小学校は30名、中学校においては、近年で最も多い50名の新入生を迎えて新学期がスタートいたしました。

本年度は大型連休もあり、児童生徒の様子を見守っていたところですが、新入生を含め、児童生徒は毎日元気に通学し、落ち着いて学習に取り組んでおります。

また、保小中高一貫教育においては、本町を担う人材を育成していく中でより良い連携が図られるよう、保育所や各学校における学習の積み重ねを「キャリア・パスポート」としてまとめ、次の学年や校種（学校間）に引き継ぐ取り組みについて、研究を進めてまいります。

【小中学校エアコン整備事業】

次に、小中学校のエアコン整備事業についてでございます。

平成30年度からの繰越事業として実施している本事業につきましては、現在までに概ね工事が完了し、6月下旬頃から使用可能となる見込みでございます。

昨年度はこの頃から気温が上昇し、熱中症対策についてご心配をいただいたところですが、本年度は児童生徒が快適に学校生活を送ることができ、集中して学習に取り組めるものと考えております。

このエアコン整備に伴い、保護者の皆様には一部の学用品費について、本年度より町費補助の見直しをさせていただきました。引き続き、児童生徒の安全対策と学校の運営にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【飯南高校の魅力化】

次に、飯南高校の魅力化についてでございます。

本年度はテレビ番組の効果もあり、昨年より多い59名が入学し、そのうち県外からは10名が入学いたしました。

全校生徒数は174名で、町内77名に対して町外97名（県外23名、県内74名）と、大幅に町外生が町内生を上回る状況となりました。町外への募集活動の効果が表れている一方で、町内生徒の入学率向上へ向け、保小中高一貫教育推進協議会において昨年度からそのあり方について協議を始めているところですが、この状況を踏まえて、さらに保育所から高校までの連続性・系統性のある教育について検討を進め、中学生から注目される飯南高校として、魅力化を進めてまいります。

3. 産業

次に産業についてでございます。

【農林業の振興】

はじめに、農林業の振興についてでございます。

4月に入り、新たに「アグリ・ドリーム口小田」と「共栄寺沢」の2つの農事組合法人が設立されました。地域の担い手として発展されることを期待するところでございます。

いもの

また、大阪にある^{いもの}鋳物を中心とした事業を行う（株）大鋳産業が、本町において新たに農業事業を行うため、（株）ダイセンアグリを設立され、3月下旬、上来島において事業をスタートされました。

（株）ダイセンアグリでは、水耕栽培の新技术導入試験や、将来的には担い手組織への人材派遣も考えておられ、農業の発展に寄与いただけるよう、町としても初期の施設整備支援を行い、今後も関係機関と連携し農業事業の定着に協力してまいります。

【鳥獣被害対策】

次に、鳥獣被害対策についてでございます。

3月7日、農事組合法人長谷営農組合が、長年取り組まれてこられた鳥獣被害対策の活動が認められ、中国四国農政局長賞を受賞されました。

管内で2団体のみという大変栄誉ある受賞であり、長谷営農組合のこれまでの取り組みに敬意を表するとともに、改めてお祝い申し上げるものでございます。

また、これまで実施しております、鳥獣被害防止総合対策事業につきましては、このたび国の交付金の内示があり、1千万円余の予算配分をいただきました。これを受け、昨年に引き続き、国(1/2)町(1/3)生産者(1/6)の枠組みで被害防止対策を推進するため、今定例会に所要額を計上いたしております。

【観光の振興】

次に、観光の振興についてでございます。

島根県が実施しております観光動態調査によりますと、平成30年の本町への観光客の入込み数は、昨年との比較において、町内の16か所の調査地点のうち、14地点で増加しました。人数にして前年を3万7千人上回る、42万5千人となり、昨年7月に行われました大しめ縄の架け替えに関する一連の取り組みが功を奏したものと分析しております。

引き続き「日本一の大しめ縄の里飯南町」として観光誘客に努めてまいります。

【ぼたんまつり】

次に、ぼたんまつりについてでございます。

先月3日から12日まで「第46回ぼたんまつり」が盛大に開催されました。メイン日は絶好の天候にも恵まれ、ぼたんの花はもちろん、「屋外ステージ」や「よさこい総踊り」などを楽しむ来場者で出展ブースも大盛況となり、6千8百人の来場者数となりました。

また、当日は、広島とんぼら会の会長である、泉原龍見（いずはら りゅうけん）さんのご紹介により、「東京オペラシンガーズ」のコンサートも開催され、300人近い来場の中、まさしく華のある、例年にないまつりとなりました。

企画運営にご尽力いただきました実行委員会の皆様と、泉原さまに感謝いたすとともに、今後もぼたん園をはじめとする本町の魅力を発信できるイベントとして取り組んでまいります。

【サイクリング】

次に、サイクリング事業についてでございます。

初めての開催となります「琴引マウンテンバイクフェスタ2019」が、4月20日と21日の2日間、琴引フォレストパークスキー場周辺を会場に観光協会主催で開催され、町内外から40名の参加がありました。

当日はプロライダーの郷丸勝範（ごうまる かつのり）選手による安全講習会の後、特設コースの試走が行われ、新緑の中でのイベントを楽しんでいただきました。

今後は、オフシーズンのスキー場利用による、新たな町の魅力発信につながることを期待しております。

また、今後、7月の「飯南ヒルクライム」をはじめ、8月「やまなみ街道クライムライド」、9月「道の駅グルメライド」と、毎月サイクリングイベントが開催されます。多くの皆様に参加いただき本町の魅力を満喫していただくと共に、本町の活力につなげてまいります。

【日本遺産認定への取組み】

次に、日本遺産認定への取組みについてでございます。

「石見銀山街道」の日本遺産認定へ向け、沿線7自治体で協働し、取り組んでまいりましたが、3度目のチャレンジも残念ながら認定には至りませんでした。

今後のことにつきましては、石見銀山街道日本遺産認定推進協議会や関係団体と検討したいと考えます。

【キャッシュレス決済導入促進】

次に、キャッシュレス決済導入促進についてでございます。

本年10月に予定されている消費税率の改正に伴い、国ではキャッシュレス決済による利用者への5%還元する事業を実施されます。

町としても身近な町内店舗での購入促進を図り、これを契機に本町でのキャッシュレス決済を普及するため、機器の整備助成事業を実施し、町内商工業の振興と地域内の消費拡大を図りたいと思うところであり、所要額について計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【プレミアム付商品券事業】

次に、プレミアム付商品券事業についてでございます。

同じく、国においては、消費税率改正に際し、住民税非課税世帯や、3歳未満の子どもがいる子育て世帯に対し、税率引上げ直後に生じる負担増などによる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券事業が実施されます。

これは、25%のプレミアム度（4千円→5千円）商品券として実施されるものですが、本町における経済効果は3千万円と試算されているところで、地元消費の拡大、生活支援策として、好循環が生まれる事に期待をしているところでございます。

今後は、国、島根県の実施要領に従い、対象の方への周知を行うなど、この事業が有意義に行われるよう努めてまいります。

なお、販売等は商工会への委託事業として実施する予定としており、所要額を計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【加圧玄米製造の休止】

次に、加圧玄米製造の休止についてでございます。

(株)エリーゼ飯南工場での加圧玄米製造につきましては、昨年末から製造を休止され、従業員も一時的に解雇したとの報告を受けております。

理由は、高気圧加圧の特許使用権を有する企業との間で技術支援等の問題が生じたということで、現在法廷において調停中であることから、製造再開の目途は立っていないようであります。

町といたしましては、一時的な解雇とはいえ、期待していた雇用の場が失われること、また、健康や認知症予防に効果がある商品として販売量も増えてきた矢先の休業であり、誠に残念に思うところであります。

(株)エリーゼにおかれましては、早期の再開を目指して鋭意努力しておられますので、随時状況報告を受けながら、見守ってまいりたいと思っております。

【志津見ダム水源地域ビジョン】

次に、志津見ダム水源地域ビジョンについてでございます。

本年度は、「志々のみどころ紹介」として、志津見湖畔ウォーキングコースを紹介する案内看板を設置する予定にしております。案内看板は、国道 184 号線沿いに設置を考えており、ウォーキングをしながら志津見地区の四季折々の景観を楽しんでいただき、「人が集まるふるさとづくり」につなげてまいります。

また、5月11日から12日にかけて、島根大学から10名が田植え作業などの田舎体験や、地域住民との交流を楽しみ、今後も、お祭りや運動会など年間を通した交流事業を行う予定であり、元気な地域づくりにつながるものと期待しております。

今週末は「ポピー祭」の開催が予定されており、天候に恵まれ多くの来場者があることを願い、志津見ダム周辺地域の賑わい創出につながることを期待しております。

4. 保健・福祉

次に、保健・福祉についてでございます。

【健康づくりの推進】

はじめに、健康づくりの推進についてでございます。

疾病の早期発見、重症化の予防のために、本年度も5月から住民健診を開始し、11月まで基本健診や各種がん検診を実施いたします。

平成30年度の受診率は前年度と比較し約2%向上し、4月の自治区長会において上位10地区をはじめ、特別賞として3地区を表彰いたしました。

また、65歳を除く61歳から74歳の国保加入者の人間ドックの費用助成と、75歳以上の後期高齢者医療保険加入者の人間ドックの費用助成は、年間を通して行っておりますので、ご利用いただきたいと思います。

【地域包括ケア推進局】

次に、地域包括ケア推進局についてでございます。

課題である人材確保対策につきましては、福祉施設協議会や人材確保支援センターと連携し、外国人雇用の研修など協働して取り組み、人材確保につなげてまいります。

また、本年度の医療従事者等確保対策助成金につきましては、看護師を目指す学生3名と介護福祉士を目指す学生1名を決定したところであり、今後に期待をするところでございます。

【地域医療（病院事業）の充実】

次に、病院事業についてでございます

医師の体制につきましては、3月末に副院長でありました永澤先生と内田先生が退任されましたが、4月1日には、新たに吉村美咲先生に着任いただいたところでございます。

これにより、昨年度当初と同じ、常勤内科医師5名、常勤歯科医師1名の体制で、飯南病院、来島診療所及び各出張診療所の運営を行っております。

派遣医師につきましても、島根県、島根大学医学部、雲南市立病院から引き続きご支援、ご協力をいただいておりますほか、非常勤医師につきましても、これまで同様にご協力をいただいているところでございます。

昨年度の運営状況につきましては、入院部門、外来部門ともに、前年度と同様の患者数となりました。しかしながら、病床利用率は昨年度と同じ69.7%となり、経営の目標とする70%を前年度に続いて達成することができませんでした。

病床利用率については、飯南病院改革プランを遂行する上で、重要な指標であり、これまでの状況を精査しながら、健全な病院経営に向けて取り組みを進めてまいります。

【障がい福祉の充実】

次に、障がい福祉の充実についてでございます。

NPO法人が経営する「晴雲の里」につきましては、平成26年度より老朽化による建替計画があるものの、既存地がイエローゾーンであることから、安全な建替候補地を模索されていましたが、この度、候補地の協議が整い、建替計画が大きく前進したところでございます。

町といたしましても、地域包括ケアの推進、障がい福祉サービスの充実・集約化に向けこの計画を支援・推進したいと考えているところであり、土地購入費及び造成にかかる測量設計業務費を計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

5. 生活環境

次に、生活環境についてでございます。

【定住の促進】

はじめに、定住の促進についてでございます。

本町の定住施策や、地域の人柄、自然環境が、訪れる方々の心に響き、昨年度のU I ターン者数は44名でした。

引き続き子育て世代が住みたい日本一の町として、誠意と人柄をもって対応し、「人が人を呼ぶ好循環」につなげてまいります。

また、国の交付金を活用し、島根県と共同して東京23区から本町に移住し、対象法人として登録された中小企業等に就業した方に、移住支援金（2人以上世帯：100万円、単身世帯60万円）を支給する制度を新たに創設し、都会での相談会等で積極的に活用しながら運用したく、本支援金に関する所要額を計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【可燃ごみ処理施設広域化の検討】

次に、可燃ごみ処理施設広域化の検討についてでございます。

雲南市・飯南町事務組合が平成30年3月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、令和14年度以降の可燃ごみ処理に関わる施設整備に向けた検討を進めることとしている中、奥出雲町から、雲南市・飯南町事務組合に対し、共同の可燃ごみ処理の申し出がありました。

本町といたしましては、雲南エネルギーセンターの更新時期を迎える令和13年度までに関係団体、両市町と連携し、処理効率、運搬効率、経済性に優れた施設整備につきまして今後検討を進めてまいります。

【生活道の整備と安全確保】

次に、生活道の整備と安全確保についてでございます。

平成30年の災害につきましては、公共土木施設災害を9か所、農地・農業施設災害を5か所繰り越しておりましたが、このうち5か所が竣工し、残る箇所についても早期完了に向け事業を進めております。

今後、出水期となりますので、被災した箇所を含めパトロール等警戒にあたってまいります。

次に、社会資本整備総合交付金事業につきましては先般内示があり、当初予算に比べ、交付金ベースで7千3百万円余の増額となりました。このため各整備予定路線間での事業量を再検討し、繰越工事としております事業とあわせ、早期着工を指示しているところでございます。

次に、主な県営事業についてでございます。

佐見地区水道整備事業につきましては、浄水場施設が完成したことから一部区域で供用開始しているところですが、引き続き国道54号線の配水管敷設工事を進め、接続率の向上を図ってまいります。

また継続中の向谷線の中山間地域総合整備事業、真木張戸基幹農道整備事業、赤名川改修等につきましても、引き続き島根県と連携し鋭意事業を推進してまいります。

【情報通信網の整備】

次に、情報通信網の整備についてでございます。

頓原地域の情報通信施設の光ケーブル化につきましては、総務省から補助金の内示があり、先日入札を執行し仮契約を締結したところであり、本定例会において契約に係る議決をいただきたく議案を提出しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、施工にあたりましては、宅内への引き込み工事もあることから、住民の皆様への周知を徹底し、丁寧に説明しながら推進してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

【防災訓練】

次に、防災訓練の実施についてでございます。

6月2日、飯南町防災訓練を実施いたしました。

このたびの訓練は、「大雨・洪水・土砂災害」を想定し、災害対策本部の情報伝達訓練、避難及び避難誘導訓練、防災展示、救助訓練などを実施したところであり、ご指導いただきました島根県、雲南警察署、飯南消防署など関係機関をはじめ、飯南町消防団やご参加いただいた多くの町民の皆様にお礼申し上げます。

今回の訓練では、昨年7月に本町初となる避難勧告を発令したときの教訓を踏まえ、より現実的な訓練とするために、あえて指定緊急避難場所に町職員は配置せず、自治区や地元消防団を主体とした避難誘導や安否確認を進めていただきましたが、現場ではさまざまな課題もあつたことと思います。

今後、これらの課題を検証するとともに、自主防災組織の重要性などを啓発し、防災意識の向上に努めてまいります。

また、5月31日には災害時における物資の確保を目的として、(株)ジュンテンドーと「災害救助物資の調達に関する協定書」を締結したところであり、これらの連携協定を活かしながら災害時の避難生活、安全確保などより一層の防災体制を整えてまいります。

【平成30年度決算関係】

次に、平成30年度決算の概要についてでございます。

一般会計につきましては、翌年度に繰り越すべき財源を除き、8千5百万円

余を繰り越しできる見込みでございます。

しかしながら、行財政改革で収支均衡の予算編成を掲げ、健全な財政運営に懸命に取り組んできたところですが、減債基金を3千万円取り崩さざるを得ない状況となりました。

この要因としては、災害復旧事業の施越しなどにより、翌年度に繰り越すべき財源として4千9百万円余が必要であることなどが大きな理由でございますが、加えて、今後、光ケーブルなど大規模事業の町債返済が始まることを見据え、1億4千8百万円余の繰上償還を実行したことも要因のひとつでございます。

また令和2年度には交付税が一本算定となり、より一層財政的に厳しい状況となることが予想されます。税金等の滞納対策の強化はもちろん、平成30年度に過去最高額となる1億4千百万円余の寄附をいただいたふるさと納税など、自主財源の確保にも努め健全な財政運営に努めてまいります。

病院事業会計は、経営の目標とする病床利用率をわずかに下回る状況であり、引き続き、健全な病院運営に向けて取り組んでまいります。

その他の特別会計につきましては、いずれも黒字決算ができる見込みとなったところでございます。

【令和元年度補正予算】

次に、今回提案いたします一般会計補正予算などについて概要を申し上げます。

6月補正予算につきましては、共通の事項として人事異動に伴う人件費の組み替えや、補助金等が交付決定した事業について補正を行いたいものでございます。

一般会計につきましては、主な歳出として、東京23区からの定住促進対策事業に6百万円余、プレミアム商品券事業に1千万円余、障がい者福祉施設整備事業に6百万円余、農作物鳥獣被害防止事業に3百万円余の増額補正としたほか、社会資本整備総合交付金の内示による道路新設改良事業などの組み替えに1億2千2百万円余の増額補正としたところでございます。

これらの財源としましては、社会資本整備総合交付金に7千3百万円余、プレミアム商品券事業費補助金に1千万円余、町債を9千6百万円余の増額補正としたところでございます。

また、特別会計につきましては、いずれの会計も人事異動による人件費の補正でございます。

本定例会に提案いたしました案件は、平成 30 年度繰越明許費の報告など報告案件 3 件、専決処分の承認を求める承認案件 7 件、条例改正など議決を要する案件 3 件、議決を要する契約など 4 件、令和元年度一般会計補正予算など予算案件 6 件でございます。

以上諸般の報告並びに提出案件の概要につきまして申し上げましたが、詳細につきましては、後ほど担当課長に説明いたさせますので、何とぞ慎重にご審議の上、適切にご議決を賜りますようお願い申し上げます。